

図書館便り 4月号



CLICK しあわせ電子図書館

CLICK 新宮中図書館蔵書検索「カーリル」



ようこそ！図書館へ

皆さん、ご進学・ご入学おめでとうございます。新しい生活には慣れましたか。

学校図書館は、皆さんの中学校生活が豊かで充実したものになるよう、お手伝いします。読書に学習や調べ物、そして、心と体をゆっくりと休める場所として、いつでも自由に利用してください。

また、読書相談も行っていますので、読む本に迷った時など気軽に声をかけてください。お待ちしております。

朝読書を大切に

中学校では小学校の時のように読書の時間はありません。本の貸出返却、読む時間や量など、自分で決定・管理していきます。これは読書習慣が身につけていないとなかなか難しいですが、新宮中学校では毎朝10分間、全校一斉で朝読書に取り組んでいます。この時間を大いに活用して、自律した読書をめざしましょう。



あなたの読書環境をもっと便利で豊かに

中学生は、勉強に部活や習い事、家族のお手伝い、ゲームにSNSなど毎日忙しく過ごしています。

そんな多忙な生活でも図書館を利用できる便利なツールを紹介します。使い方はClassroomに投稿してありますので、確認してどんどん利用してください。



国民の間に広く子どもの読書活動への理解を深めるとともに、子どもの読書意欲を高めることを目的としています。4月23日はユネスコが定めた「世界本の日」であり、その日にちなんで2001年に「子ども読書の日」と制定されました。

また、1959年に始まった「こどもの読書週間」は、もともと5月5日のこどもの日を中心とした2週間でしたが、新しく「子ども読書の日」に合わせて4月23日から5月12日までになりました。

□新宮中図書館蔵書検索サイト「カーリル」

☞Chromebookや自宅のPCやスマホから新宮中図書館の蔵書検索と予約ができます。

□「しあわせ電子図書館」

☞新宮町立図書館の電子図書館です。本の持ち運び不要、返却の手間もなしなど紙の本とは違った魅力を楽しめます。

【おまけ】図書館利用者カードを失くしても…

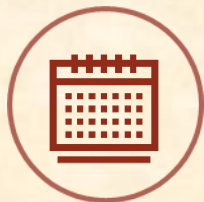
☞安心してください。引き続き本の貸出は可能です。カウンターで学年・学級・氏名を伝えてください。

あいことばは
ヒ・ラ・ケ・ホ・ン！



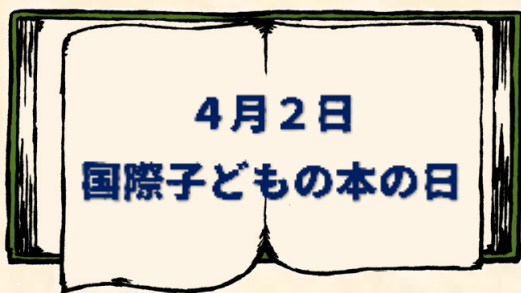
2025年第67回
こどもの読書週間
4月23日～5月12日 4月23日は子ども読書の日

期間中、図書の貸出
一人三冊まで



連載企画

❖本ごよみ❖



今年度は、毎月本に関する記念日や文学などを紹介していきます。

4月2日は、国際児童図書評議会(IBBY)が定めた「国際子どもの本の日(Children's Book Day)」です。

この日は、皆さんもよく知っている『はだかの王様』や『マツチ売りの少女』などを書いたデンマークの童話作家・アンデルセンの誕生日にちなんでいます。

本を通して子どもたちの国際理解を深めるために、また、人びとの子どもの本に対する関心を引き起こすことを目的としています。

さまざまな背景をもつ世界中の子どもたちが、いつでも好きなだけ本に触れることができる—それはすなわち、平和で幸福な社会ということ。「子どもの本を通して国際理解を深め、世界に平和を」がIBBYの理念でもあります。

出典『英語で学び、考える 今日は何の日 世界のトピック 4月5月6月』町田淳子／著(光村教育図書)

参考『日本国際児童図書評議会』

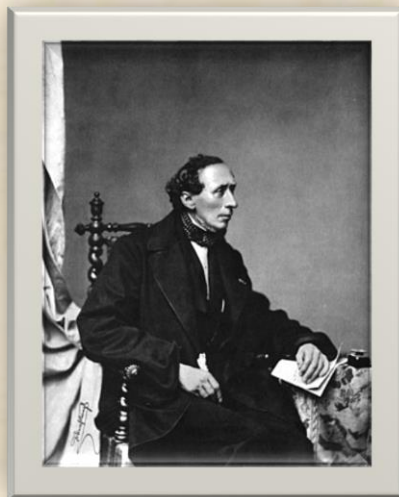


ハンス・クリスチャン・アンデルセン

Hans Christian Andersen

(1805~1875)

デンマークの作家、児童文学作家、詩人。貧しい靴職人の家に生まれ十分な教育を受けられなかった。やがて援助者が現れ大学に進むが、在学中に書いた戯曲が王立劇場で上演されると大学を辞めて作家となる。1835年『即興詩人』『こどものための童話集』を出版。その後も亡くなるまで大人にも愛される数多くの童話を残した。



出典『ポプラディアプラス 人物事典1』(ポプラ社)



今月の新着本

『10代のための疲れた体がラクになる本』

長沼睦雄／著(誠文堂新光社)
請求記号 498ナ



(左)『雪の女王』

木村由利子／訳 朝比奈かおる／絵
(偕成社) 請求記号 949 ア

悪魔の鏡のかけらが心臓に刺さった少年カイを救おうと、少女ゲルダは困難にあいながら北の果ての雪の女王の城をめざします。

(右)『絵のない絵本』

山室静／訳 いわさきちひろ／画
(童心社) 請求記号 949 ア

屋根裏に住むひとりぼっちの若い絵描きの元へ、夜ごと友だちの月が訪れては、空から見たことを語ります。



「朝起きられない」「集中できない」「やる気がでない」…ひょっとしたら、それはいくら休んでも回復しない「慢性疲労」かもしれません。

そんな悩みをもつ若い皆さんに贈る、心と体のセルフケア指南書。